- (19) JAPAN PATENT OFFICE (JP)
- (12) PUBLICATION OF PATENT APPLICATION (A)
- (11) Patent Application Publication Number : 2001-30270

(P2001-30270A)

- (43) Date of Publication : February 6, 2001 (2001.2.6)
- (51) Int.Cl. B29C 35/02

33/02

//B29K 21:00

105:24

B29L 30:00

Domestic Classification Symbol

FI Theme Code (Reference)

B29C 35/02 4F202

33/02 4F203

Request for Examination Not Filed

Number of Claims 1 OL (6 pages in total)

(21)Application Number: H11-209967

(22)Date of Filing : July 23, 1999 (1999.7.23)

(71)Applicant : 000145002

ICHIMARU GIKEN CO., LTD.

601, Ooaza Tunemochi, Chikugo-shi, Fukuoka

(72)Inventor : ICHIMARU Hironobu

ICHIMARU GIKEN CO., LTD.

601, Ooaza Tunemochi, Chikugo-shi, Fukuoka

(74)Agent: 100081592

Patent Attorney HIRATA Yoshinori

F term (Reference) 4F202 AH20 CA21 CB01 CU12 CV09 CV10

4F203 AH20 DA11 DB01 DC01 DL10 DL12 DN22

(54)[TITLE OF THE INVENTION] BLADDER EXCHANGING DEVICE FOR TIRE

VULCANIZING MACHINE

(57)[ABSTRACT] (Corrected)

[PROBLEM TO BE SOLVED] To eliminate a manual work and reliably perform an exchanging operation in a short period of time in carrying-out an old bladder and carrying-in a new bladder.

[SOLUTION] A fitting part 16 is formed at an upper end portion of a center post 13 vertically movably standing at the center of metal molds 10 and 11. A fitting hole 25 is formed in an upper clamp. On an upper surface of the upper clamp, a locking lever 3 for locking the fitting state between the fitting hole and the fitting part and a connecting tube 4 for operating a locking member are provided. The connecting tube is vertically movable between an upper unlocking position where a locking state is cancelled and a lower locking position where the locking state is maintained. With the connecting tube 4 being connected to an unlocking device 6 mounted onto a bladder conveying device 5 and being lifted to the upper unlocking position, the locking lever is unlocked and simultaneously the locking lever and the unlocking device are connected in series through the connecting tube.

(19)日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11)特許出顧公開番号 特開2001-30270 (P2001-30270A)

(43)公開日 平成13年2月6日(2001.2.6)

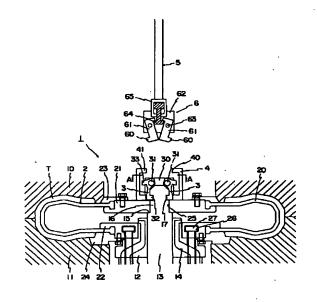
(51) Int.Cl. ⁷ B 2 9 C 35/02 33/02 // B 2 9 K 21:00 105:24 B 2 9 L 30:00	酸別記号	F I B 2 9 C 35/02 33/02	テーマコード(参考) 4F202 4F203
B2 9 L 30.00		審査請求 未請求 請求項の数	(1 OL (全 6 頁)
(21)出願番号	特顯平11-209967	(71)出顧人 000145002 株式会社市丸技研	
(22)出顧日	平成11年7月23日(1999.7.23)	福岡県筑後市大字常 (72)発明者 市丸 寛展 福岡県筑後市大字常 技研内	用601番地 用601 株式会社市丸
		(74)代理人 100081592 弁理士 平田 義則 Fターム(参考) 4F202 AH20 CA2 CV10 4F203 AH20 DA1 DL12 DN2	1 CB01 CU12 CV09 1 DB01 DC01 DL10

(54) 【発明の名称】 タイヤ加硫装置のプラダー交換装置

(57)【要約】 (修正有)

【課題】 新旧プラダーの搬入出に際し、人手作業を排除すると共に、交換作業が短時間で確実に行なえる。

【解決手段】 金型10,11の中央に昇降可能に立設されたセンターポスト13の上端部分に嵌合部16が形成され、上側クランプに嵌合穴25が形成されている。上側クランプの上面には、嵌合穴と嵌合部との嵌合状態をロックするロックレバー3と、ロック部材を操作する連結筒4が設けられ、この連結筒は、ロック状態を解除させる上側解除位置からロック状態を保持させる下側ロック位置との間を昇降可能に設けられている。プラダー搬送装置5に取り付けられたロック解除装置6に連結して連結筒を上側解除位置に上昇させた状態で、ロックレバーのロックが解除されると同時に、ロックレバーとロック解除装置とが連結筒を介して一連に連結される。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 上下に分割された上金型及び下金型と、 プラダー本体の上端及び下端にそれぞれ上側クランプ及 び下側クランプが固定されたプラダーとを備え、

下金型の中央にバグヘッドを介してセンターポストが昇降可能に立設され、このセンターポストの上端部分に上側クランプを着脱可能に結合すると共に、バグヘッドに下側クランプを着脱可能に結合した状態で、上金型と下金型との間に保持した生タイヤを、プラダー本体によって内部から両金型に押し付けながら加熱するように形成 10 されているタイヤ加硫装置において、

センターポストの上端部分に嵌合部が形成され、

との嵌合部に着脱可能に嵌合する嵌合穴が上側クランプ に形成され。

この上側クランプの上面には、嵌合穴と嵌合部との嵌合 状態をロックするロック部材と、このロック部材を操作 する昇降連結部材が設けられ、

この昇降連結部材は、ロック部材のロック状態を解除させる上側解除位置からロック部材のロック状態を保持させる下側ロック位置との間を昇降可能に設けられ、

この昇降連結部材に着脱可能に連結するロック解除装置 がプラダー搬送装置に取り付けられ、

ロック解除装置に連結して昇降連結部材を上側解除位置 に上昇させた状態で、ロック部材のロックが解除される と同時に、このロック部材とロック解除装置とが昇降連 結部材を介して一連に連結されるように形成されている ことを特徴としたタイヤ加硫装置のブラダー交換装置。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、生タイヤ(グリーンタイヤ)を加硫成型するためのタイヤ加硫装置に設けられたプラダーを交換するのに使用されるプラダー交換 装置に関する。

[0002]

【従来の技術】従来のタイヤ加硫装置は、上下に分割された上金型及び下金型及び複数のサイドモールドと、プラダーとを備え、上金型と下金型との間に保持した生タイヤを、プラダー内に入れた高圧ガスによるプラダーの膨張によって内部から両金型に押し付けながら加熱する構造になっている。プラダーは、プラダー本体の上端及40び下端をそれぞれ上側クランプ及び下側クランプにより固定され、その上側クランプを下金型の中央にバグへッドを介して昇降可能に立設されたセンターボストの上端部分に着脱可能に結合すると共に、下側クランプをバグへッドに着脱可能に結合した状態に取り付けられる。従って、プラダーを交換するに際しては、上側クランプとセンターボストとの結合を解除すると共に、下側クランプとバグへッドとの結合を解除し、プラダーを取り出すてとになる。この場合、従来では、上側クランプとセンターボストとの結合はボルト締結で行なわれています。

その作業は、作業者による人手作業で行なわれていた。 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、従来のように、上側クランプとセンターポストとを人手作業によるボルト締結で結合すると、その作業に時間がかかり、その分、タイヤ加硫装置の稼働時間が短縮され、生産性が低下する。特に、ブラダーはゴム製であるため、劣化が激しく、頻繁に(通常、週に1~2度)交換作業を行なう必要があり、これが生産性向上のネックになっている。又、加硫停止直後は、ブラダーを含めたタイヤ加硫装置が高温であり、作業者は、このタイヤ加硫装置の内部に入ってブラダーを交換する必要があるため、作業環境が悪く、作業に危険を伴うという問題がある。

【0004】本発明は、上述のような従来の問題点を解決するためになされたもので、ブラダー交換時における上側クランプとセンターポストとの着脱作業及び新旧プラダーの搬入出に際し、作業者による人手作業を排除すると共に、交換作業が短時間で確実に行なえるようにして、省力化を図りながら生産性を向上することができるようにしたタイヤ加硫装置のプラダー交換装置を提供することを課題としている。

[0005]

20

【課題を解決するための手段】上記課題を解決するため に、本発明のタイヤ加硫装置のブラダー交換装置は、上 下に分割された上金型及び下金型と、プラダー本体の上 端及び下端にそれぞれ上側クランプ及び下側クランプが 固定されたプラダーとを備え、下金型の中央にバグヘッ ドを介してセンターポストが昇降可能に立設され、この センターポストの上端部分に上側クランブを着脱可能に 結合すると共に、バグヘッドに下側クランプを着脱可能 に結合した状態で、上金型と下金型との間に保持した生 タイヤを、プラダー本体によって内部から両金型に押し 付けながら加熱するように形成されているタイヤ加硫装 置において、センターポストの上端部分に嵌合部が形成 され、この嵌合部に着脱可能に嵌合する嵌合穴が上側ク ランプに形成され、この上側クランプの上面には、嵌合 穴と嵌合部との嵌合状態をロックするロック部材と、こ のロック部材を操作する昇降連結部材が設けられ、この 昇降連結部材は、ロック部材のロック状態を解除させる 上側解除位置からロック部材のロック状態を保持させる 下側ロック位置との間で昇降可能に設けられ、この昇降 連結部材に着脱可能に連結するロック解除装置がプラダ 一搬送装置に取り付けられ、ロック解除装置に連結して 昇降連結部材を上側解除位置に上昇させた状態で、ロッ ク部材のロックが解除されると同時に、このロック部材 とロック解除装置とが昇降連結部材を介して一連に連結 されるように形成されている構成とした。

プとバグヘッドとの結合を解除し、プラダーを取り出す 【 0 0 0 6 】このプラダー交換装置では、プラダーは、 ことになる。この場合、従来では、上側クランプとセン 上側クランプに形成した嵌合穴をセンターポストに形成 ターポストとの結合は、ボルト締結で行なわれ、しかも 50 した嵌合部に嵌合すると共に、下側クランプをバグヘッ

2

ドに結合した状態で金型内に装着される。この場合、嵌合穴と嵌合部の嵌合状態は上側クランプの上面に設けたロック部材及び昇降連結部材によってロック又は解除される。尚、下側クランプは、従来同様の結合構造になっている。

【0007】そして、プラダーを交換するに際しては、 プラダー搬送装置に取り付けられたロック解除装置を用 いるものである。この場合、ロック解除装置を昇降連結 部材に連結してプラダー搬送装置を上昇させると、これ に伴い昇降連結部材が上側解除位置に上昇してロック部 材のロックが解除され、同時にロック部材とロック解除 装置とが昇降連結部材を介して一連に連結される。従っ て、プラダー搬送装置には、一連に連結されたロック解 除装置、昇降連結部材、ロック部材を介してプラダーが 連結された状態になるため、プラダー搬送装置を上昇さ せていけば、上側クランプの嵌合穴をセンターポストの 嵌合部から引き抜きながらプラダーを垂下状態に引き上 げることができる。後は、引き続きプラダー搬送装置で ブラダーを所定の位置に移動させ、そこでロック解除装 置と昇降連結部材との連結を解除して、プラダーを取り 20 外すものである。尚、下側クランプのバグヘッドに対す る結合は、従来と同様にして解除する。

【0008】上述のようにしてプラダーを取り外したのち、次に、新たなプラダーを用意してロック解除装置に昇降連結部材を連結させ、プラダーを垂下状態のままプラダー搬送装置で金型の上方に移動させる。次に、嵌合穴を嵌合部に嵌合させるようにプラダー搬送装置を下降させて行くもので、その下降に伴い昇降連結部材が下側ロック位置に下降してロック部材をロックさせるため、嵌合部と嵌合穴との嵌合を保持させた状態でブラダーを30金型内に確実に装着することができる。尚、プラダーの下側クランプとバグヘッドの結合は、従来と同様に行なわれる。このようにして、プラダーを金型内に装着したのち、ロック解除装置と昇降連結部材との連結を解除させて、プラダー搬送装置を待機位置に移動させることにより、プラダーの交換作業が完了する。

[0009]

【発明の実施の形態】以下、本発明の実施の形態を図面により説明する。図1は本発明の実施の1形態であって、プラダー交換装置を示す断面図、図2は図1のA-A断面図、図3〜図8はプラダー交換の工程説明図である。

【0010】図において、1はタイヤ加硫装置で、上下に分割された上金型10及び下金型11と、プラダー2とを備え、上金型10と下金型11との間に保持した生タイヤTを、プラダー2によって内部から両金型10、11に押し付けながら加熱するように形成されている。【0011】前記プラダー2は、円筒状に形成されたゴム製のプラダー本体20の上端及び下端にそれぞれ上側クランプ21及び下側クランプ22が押さえ部材23、

24によって固定され、その上側クランプ21が、下金型11の中央にバグヘッド12を介して昇降可能に立設されたセンターポスト13の上端部分に着脱可能に結合すると共に、下側クランプ22がバグヘッド12に着脱可能に結合した状態で金型10、11内に装着される。 尚 図中14は蒸気供給路で、圧力及び加熱媒体として

尚、図中14は蒸気供給路で、圧力及び加熱媒体として の蒸気をプラダー2内に供給するためのもので、バグヘッド12に形成されている。

【0012】前記上側クランプ21とセンターポスト1 3との結合構造を説明する。センターポスト13の上端 部分に段部15を介して嵌合部16が形成され、この嵌 合部16に着脱可能に嵌合する嵌合穴25が上側クラン プ21に形成され、その嵌合状態で上側クランプ21の 上面に一致するように嵌合部16にロック溝17が形成 されている。又、上側クランプ21の上面には嵌合穴2 5を挟んた対向状態でブラケット30、30が取り付け られ、このブラケット30、30間に、一対のロックレ バー3, 3 (ロック部材)が回動可能に軸着31,31 されている。このロックレバー3には、その下端に前記 ロック溝17に着脱可能に係合するロック爪32が内向 きに突設され、又、上端にはロック爪32の係合を解除 させるための解除爪33が外向きに突設されている。 尚、このロックレバー3は、その自重により常時はロッ ク爪32がロック溝17に係合するようになっている。 又、上側クランプ21の上面には、連結筒4(昇降連結 部材)が設けられている。この連結筒4は、上端開口部 40に内向フランジ41が形成された筒状体に形成さ れ、そして、前記ブラケット30,30及びロックレバ -3,3を囲む状態に遊嵌されて、そのブラケット3 0,30に沿って上側解除位置(図6の位置)から下側 ロック位置(図1の位置)に自重降下するように昇降可 能に設けられている。この連結筒4は、その下側ロック 位置では、ロック爪32の背面に当接してロックレバー 3の回動を固定することにより、ロック溝17に対する ロック爪32の係合状態をロックさせ、又、その上側解 除位置では、解除爪33を押し上げることによりロック レバー3を外向きに回動させてロック溝17に対するロ ック爪32の係合状態を解除させるようになっている。 【0013】尚、前記下側クランプ22とバグヘッド1 2との結合構造は、従来と同様であり、下側クランプ2 2の下面に形成した係止溝26に自動固定装置の係止爪 27を着脱可能に係合させる結合構造になっている。 【0014】そして、このタイヤ加硫装置1の上方に は、プラダー搬送装置5が設けられ、このプラダー搬送 装置5には、前記した連結筒4に着脱可能に連結するロ ック解除装置6が取り付けられている。このロック解除 装置6は、下端に外向きの連結爪60,60が形成され た1対の連結レバー61、61が、プラダー搬送装置5

の下端に設けた受け板62に開閉可能に軸支63され、

50 との連結レバー61,61間を進退するピストン64が

4

シリンダ65内に退入位置(図1の位置)と進出位置 (図4の位置) との間で進退可能に支持されている。と のピストン64は、その退入位置では連結レバー61, 61の上部(軸支部63より上方)間に介在して連結爪 60,60が前記連結筒4の上端開口部40よりも内側 に狭まるように閉じ、又、その進出位置では連結レバー 61,61の下部(軸支部63より下方)間に介在して 連結爪60,60が連結筒4の上端開口部40よりも外 側に拡がるように開くものである。

に連結するには、当初は図1に示すようにピストン64 を上側位置にして連結レバー61,61を閉じた状態し ておき、この状態で連結レバー61,61を連結筒4の 内部に上端開口部40から挿入させる。この挿入後にビ ストン64を進出位置に進出させると、図4に示すよう に連結レバー61, 61が開き、連結爪60, 60と連 結簡4の内向きフランジ41が係合すると同時に、ピス トン64によって連結レバー61,61を開いた状態に 保持することから、この連結爪61,61と連結筒4と の係合がロックされる。とのようにして、ロック解除装 20 置6と連結筒4を連結したのち、プラダー搬送装置5を 上昇させると、ロック解除装置6に連結した連結筒4が 上側解除位置に上昇して、図6に示すようにロック溝1 7に対するロック部材3の係合が解除されると同時に、 このロック部材3とロック解除装置6とが連結筒4を介 して一連に連結されるものである。

【0016】次に、ブラダー交換装置によるブラダー交 換工程を説明する。このブラダー交換装置では、ブラダ -2は、上側クランプ21に形成した嵌合穴25をセン ターポスト13に形成した嵌合部16に嵌合すると共 に、下側クランプ22をバグヘッド12に結合した状態 で金型10,11内に装着される(図1)。との場合、 **嵌合穴25と嵌合部16の嵌合状態は上側クランプ21** の上面に設けたロック部材3及び連結筒4によってロッ クされている。

【0017】そして、プラダー2を交換するに際して は、プラダー搬送装置5に取り付けられたロック解除装 置6を用いるものである。との場合、プラダー搬送装置 5を下降させてロック解除装置6を連結筒4に連結し (図3、図4)、次にプラダー搬送装置5を上昇させる 40 と(図5)、これに伴い連結筒4が上側解除位置に上昇 してロック部材3のロックが解除され、同時にロック部 材3とロック解除装置6とが連結筒4を介して一連に連 結される(図6)。従って、プラダー搬送装置5には、 一連に連結されたロック解除装置6、連結筒4、ロック 部材3を介してプラダー2が連結された状態になるた め、プラダー搬送装置5を上昇させていけば、上側クラ ンプ21の嵌合穴25をセンターポスト13の嵌合部1 6から引き抜きながらプラダー2を垂下状態に引き上げ ることができる(図7、図8)。後は、引き続きプラダ 50 13 センターポスト

ー搬送装置5でプラダー2を所定の位置に移動させ、そ とでロック解除装置6と連結筒4との連結を解除して、 プラダー2を取り外すものである。尚、下側クランプ2 2のバグヘッド12に対する結合は、従来と同様にして 解除する。

【0018】上述のようにしてプラダー2を取り外した のち、次に、新たなプラダー2を用意して、これを前述 の工程とは逆の工程で金型10.11内に装着させるこ とになる。即ち、ロック解除装置6に連結筒4を連結さ 【0015】従って、このロック解除装置6を連結筒4 10 せ、プラダー2を垂下状態のままプラダー搬送装置5で 金型10,11の上方に移動させる(図8)。次に、嵌 合穴25を嵌合部16に嵌合させるようにプラダー搬送 装置5を下降させて行くもので(図7、図6)、その下 降に伴い連結筒4が下側ロック位置に下降して(図5、 図4)ロック部材3をロックさせるため(図3)、嵌合 部16と嵌合穴25との嵌合を保持させた状態でプラダ -2を金型10,11内に確実に装着することができ る。尚、プラダー2の下側クランプ22とバグヘッド1 2の結合は、従来と同様に行なわれる。 このようにし て、ブラダー2を金型10、11内に装着したのち、ロ ック解除装置6と連結筒4との連結を解除させて、プラ ダー搬送装置5を所定の待機位置に移動させることによ り(図1)、プラダー2の交換作業が完了する。

【0019】以上、本発明の実施の形態を図面により説 明したが、具体的な構成はこの実施の形態に限定される ことはない。

[0020]

【発明の効果】以上説明してきたように、本発明のプラ ダー交換装置にあっては、プラダー交換時における上側 クランプとセンターポストとの着脱作業及び新旧プラダ ーの搬入出に際し、作業者による人手作業を排除すると とができるし、交換作業を短時間で確実に行なうことが でき、省力化を図りながら生産性を向上することができ るという効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の1形態であって、ブラダー交換 装置を示す断面図である。

【図2】図1のA-A断面図である。

【図3】プラダー交換の工程説明図である。

【図4】プラダー交換の工程説明図である。

【図5】プラダー交換の工程説明図である。

【図6】プラダー交換の工程説明図である。

【図7】プラダー交換の工程説明図である。

【図8】プラダー交換の工程説明図である。 【符号の説明】

1 タイヤ加硫装置

10 上金型

11 下金型

12 バグヘッド

,

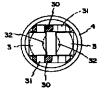
- 16 嵌合部
- 2 プラダー
- 20 プラダー本体
- 21 上側クランプ
- 22 下側クランプ
- 25 嵌合穴

*3 ロックレバー (ロック部材)

- 4 連結筒(昇降連結部材)
- 5 プラダー搬送装置
- 6 ロック解除装置
- T 生タイヤ

*

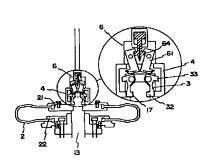
[図2]

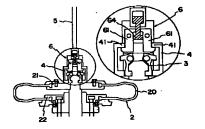


【図4】

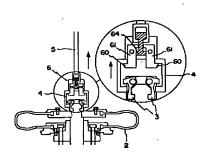


【図1】

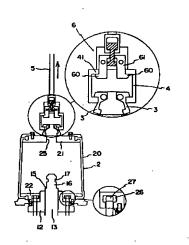


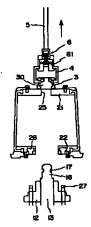


[図5] 【図6】









This Page is inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

	BLACK BORDERS
	IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
	FADED TEXT OR DRAWING
	BLURED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
	SKEWED/SLANTED IMAGES
A	COLORED OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
	GRAY SCALE DOCUMENTS
	LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
	REPERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
	OTHER:

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.
As rescanning documents will not correct images problems checked, please do not report the problems to the IFW Image Problem Mailbox